

健康だより

2014
Vol. 51
Nov.



覚えていますか？平成26年度職員定期健康診断で、
内臓脂肪測定を初めて導入しました。

お手元に健康診断通知表があります。記載のメタボリックシンドロームの判定は、腹囲基準を用いた判定です。しかし、内臓脂肪面積基準を用いた判定の方がより正確であるとされています。

メタボリックシンドローム (MetS) の判定基準



必須項目

内臓脂肪型肥満
内臓脂肪面積
≥ 100cm²
(注: 男女とも)



2つもしくは3つに該当

脂質異常

中性脂肪150mg/dl以上、または
HDLコレステロール40mg/dl未満、
または脂質異常症治療中

高血圧

最高血圧130mmHg以上、または
最低血圧85mmHg以上、または
高血圧治療中

高血糖

空腹時血糖値110mg/dl以上、または
HbA1c6.0%以上、または糖尿病治療中



H26年度 長崎大学職員健康診断より

男性		内臓脂肪面積を基準	
		非該当	該当
腹囲を 基準	非該当	83.6%	0.2%
	該当	6.6%	9.6%

女性		内臓脂肪面積を基準	
		非該当	該当
腹囲を 基準	非該当	96.6%	0.4%
	該当	1.0%	2.0%

腹囲基準のMetS非該当者のうち、内臓脂肪面積基準でMetS該当者は、
男性で $(0.2 \div (83.6 + 0.2)) = 0.2\%$ 、
女性で $(0.4 \div (96.6 + 0.4)) = 0.4\%$
でした。

一方腹囲基準のMetS該当者のうち、内臓脂肪面積基準でMetS非該当者は、
男性で $(6.6 \div (6.6 + 9.6)) = 41\%$ 、
女性で $(1.0 \div (1.0 + 2.0)) = 33\%$
でした。

つまり、腹囲基準だと、MetSを過剰判定しているようです。是非、ご自身の内臓脂肪面積で、MetS該当？非該当？を判定してみてください。ご確認されたい方は、センターまでご連絡ください。また、もう一度、内臓脂肪面積のリベンジ測定をご希望の方も、お問い合わせいただければ、すぐ対応いたします。

